

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式							
M344M401		多職種連携演習 (Inter professional learning)					コース共通専門分野		対面							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態							
選択	1	4	医学部先進医療科学科	後期	月3,月4	日本語			複数(共同)、クラス分け							
担当教員	氏名 児玉 雅明、加藤 優子、八尋 隆明、文室 知之、山本 恭子															
	E-mail kodm@oita-u.ac.jp 内線 10-6113															
授業の概要	<p>医学部先進医療科学科・医学科・看護学科および福祉健康科学部（理学療法コース、社会福祉実践コース、心理学コース）によるチーム編成を行い、医師、看護師、保健師、臨床工学技士、臨床検査技師、理学療法士、社会福祉士、心理師による複合要因を内包した症例に対して他職種による症例検討、共同連携の実践を学ぶ。医療・福祉においては1専門領域のみでは解決できず、実際の臨床を想定した実践的連携対応を学ぶ。</p> <p>座学で学んだ知識が他職種の共同介入が必要な実際の現場でどのように役立つかを学修し、グループ討議により課題解決に必要な専門職間の連携と医療と生活を包括的に支援するマネジメントおよびリーダーシップ能力、医学・医療・福祉に携わる人間として強い責任感と高い倫理観を涵養することを目的とする。</p> <p>実践的な症例から、自己の課題を抽出し、他職種と連携した解決策を見いだす能力を身につける。</p>															
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	
目標1 実際の症例に対して的確に課題を抽出できる																
目標2 抽出された課題に対して的確な解決ができる																
目標3 多職種のグループ討議に積極的に参加し問題提起、連携した解決ができる																
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
各DPへの関連度(計10)									2	2	1	2	2	1		
授業の内容																
1 症例検討																
2 症例検討																
3 多職種グループワーク：事例提示、討議																
4 多職種グループワーク：発表準備																
5 多職種グループワーク：発表																
6 多職種グループワーク：討議、まとめ・解説																
7 グループワーク：学科内まとめ、発表1																
8 グループワーク：学科内まとめ、発表2																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
ラーニング	A:知識の定着・確認		A:これまで座学、実習で学んだ知識に加え実践的な知識を得ることができる。			工夫その他の	事例を用いた多職種連携を用いた実践的な討議の実施									
	B:意見の表現・交換		B:多職種による討議、症例検討、まとめ、発表を行う。													
	C:応用志向		C:具体的な症例を通して将来、臨床現場での応用ができる													
	D:知識の活用・創造		D:これまでの知識を生かし、また新しい症例で知識を習得することができる。													
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		提示症例の予習(15h)。													
	事後学修		症例のまとめ、知識の確認(18h)。													
	想定時間合計		33													
教科書	特に指定しない。															
参考書	特に指定しない。															

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	グループ活動の参加状況	30%										
	事例発表	30%										
	レポート	40%										
注意事項	<p>医療資格取得をめざす学生は選択すること。 これまでの講義、臨床実習による学習成果をもちより、積極的にディスカッションすること。他学部、他学科との合同討議になるので、事前の指示を確認し、準備をしておくこと。 症例内容の取り扱いには十分注意すること。</p>											
備考												
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の 実務 経験	医師、臨床検査技師、臨床工学技士、保健師、看護師、理学療法士、社会福祉士、心理師としての実務経験を有す											
実務経験を いかした教 育内容	2学部、4学科、6コースそれぞれにおいて各専門資格、実務経験を有した教員による症例の作成、指導を行う。											